

東舞子

2016/1/7 (1月号)

神戸市立東舞子小学校

平成27年度学校だより

<http://www.kobe-c.ed.jp/hmi-es>

「2016年のスタート」～大切なことに心を込めて～

2016年がスタートしました。今年は新年らしからぬ暖かい日和でしたが、皆様には、ご清祥にお過ごしのこととお慶び申し上げます。昨年中は、本校教育にご理解ご協力を賜り誠にありがとうございました。年頭にあたり、職員一同気持ちも新たに、子供たちの一日一日の“成長を大切に”東舞子教育を推進してまいりたいと存じます。

さて、この1月、早速二つの“大切な行事”があります。一つ目は、毎年1月17日に実施しております「防災の集い」です。今年は阪神淡路大震災から21年目を迎えます。日曜日ではありますが、“神戸が祈りに包まれる大切な日”を登校日として、震災から学んだことを風化させない強いメッセージを震災後に生まれた子供たちに伝えていきたいと考えています。当日は、地震を想定した避難訓練と引き取り訓練も実施予定です。保護者の皆様には、ご足労をいただくこととなりますがよろしく願いいたします。

もう一つの行事は、「人権教育研究会」です。昨年度より本校は神戸市教育委員会から人権教育の研究指定を受け今年はその2年目にあたり、全市の教員に向けて授業研究会を行います。“人権という大切な課題”を改めて職員全体で見つめ直すよい機会となりました。研究テーマは「みつめる 伝える ひびき合う」で、子供たち一人一人が自ら主体的に考え、意見を発表するとともに、人の話を丁寧に受け止め話し合いをし、共に高め合っていけるような授業づくりを目指して研究を進めています。1月28日(木)の午後、神戸市内の小学校からだけでなく舞子区域からは中学校の教員も参加していただけるので、いっそう有意義な研究会となると期待しています。公開授業は各学年1クラスとなかよし学級、アトラクションは6年生が「心の賛歌」の全員合唱を行います。1～5年生の公開授業のないクラスは、給食後に下校となりますので、ご理解ご協力をお願いします。(詳しくは後日のプリント参照)

今年も変わらぬお力添えを賜りますようよろしくお願いいたします。

孫文記念館 (移情閣) “HIGAMAI WALKER” ㊤

あまりにも有名で言わずもがなの記念館でありましたので、今まで取り上げてきませんでした。ふるさとの誇りとして忘れてはならないのが孫文記念館です。中国式の楼閣でコンクリート製の最古の建築物として国の重要文化財に指定されています。もともと舞子の浜は景勝の地、別荘や料亭が立ち並ぶ場所でありました。孫文記念館はそうした一つの別荘、明治・大正時代に活躍した神戸の中国人貿易商、呉錦堂が1915年に建てた別荘でした。八角形の建物の窓から見える景色がそれぞれに違うので「移情閣」と呼ばれるようになったとされています。中国の革命家、思想家である孫文が昼食会に招かれ訪れたことから、孫文ゆかりの建物となりました。後に孫文記念館として、孫文と神戸の関係を示す資料や呉錦堂の生涯や功績の資料が展示されました。現在の地は、明石海峡大橋の建設のため移転された場所です。国際都市神戸にふさわしい記念館であると共に、景勝の地 舞子を象徴する建築物の一つであると思います。いつでも行けるという場所にありますので、かえって建物内を見学された方が少ないと聞きました。機会を見つけ、ぜひ一度、移情閣の窓から明石海峡を望んでいただきたいと思います。



校長 小野晃弘